

【平成29年度 食育に関する県民の意識調査結果】

1. 調査目的

県民の食事の状況等を把握し、県が実施する食育の施策に反映する。

2. 調査時期

平成29年11月9日～11月22日

3. 調査対象

ながさきWEB県政アンケート全モニター 395名

4. 回答状況

回答者 366名（回答率 92.7%）

5. 調査担当課

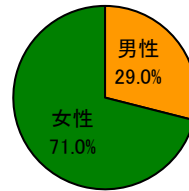
県民生活部 食品安全・消費生活課

※端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

《回答者属性》

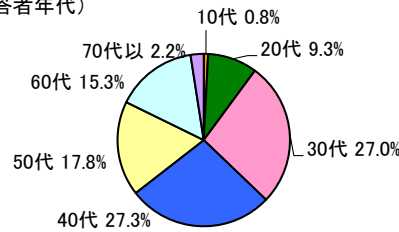
性別	人数	構成比
男性	106	29.0 %
女性	260	71.0 %
計	366	100.0 %

(回答者性別)



年代	人数	構成比
10代	3	0.8 %
20代	34	9.3 %
30代	99	27.0 %
40代	100	27.3 %
50代	65	17.8 %
60代	56	15.3 %
70代以上	9	2.5 %
計	366	100.0 %

(回答者年代)



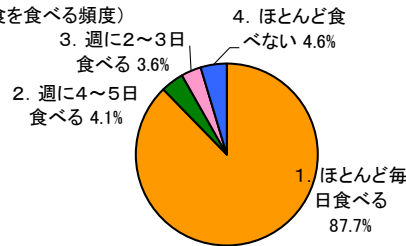
《調査結果》

【「食育」に関する関心度と取組状況】

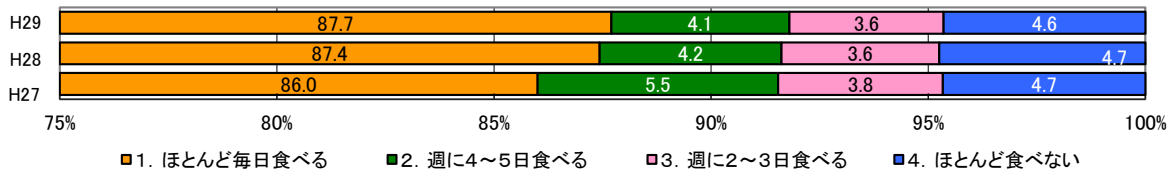
Q1 あなたのふだんの朝食を食べる頻度について、あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日食べる	321	87.7 %
2. 週に4～5日食べる	15	4.1 %
3. 週に2～3日食べる	13	3.6 %
4. ほとんど食べない	17	4.6 %
計	366	100.0 %

(朝食を食べる頻度)



《参考：経年比較》



Q2 あなたは家族と同居していますか。

回答	回答者数	構成比
1. 同居している	334	91.3 %
2. 同居していない	32	8.7 %
計	366	100.0 %

(住居の状況)



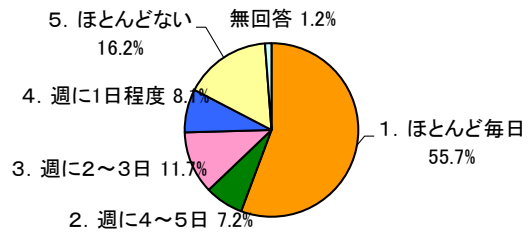
Q3 <家族と同居している方にお尋ねします。>

朝食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

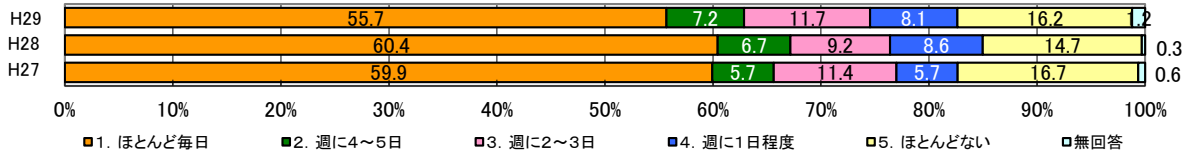
回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	186	55.7 %
2. 週に4~5日	24	7.2 %
3. 週に2~3日	39	11.7 %
4. 週に1日程度	27	8.1 %
5. ほとんどない	54	16.2 %
無回答	4	1.2 %
計	334	100.0 %

回答対象者 334人

(朝食時の家族との共食)



<<参考:経年比較>>



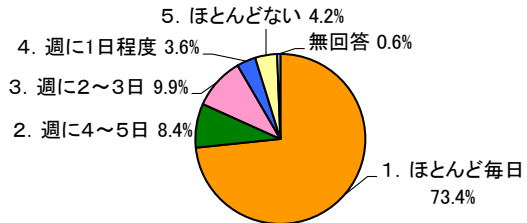
Q4 <家族と同居している方にお尋ねします。>

夕食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

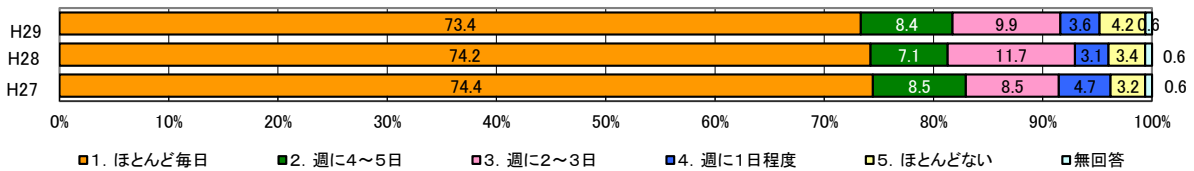
回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	245	73.4 %
2. 週に4~5日	28	8.4 %
3. 週に2~3日	33	9.9 %
4. 週に1日程度	12	3.6 %
5. ほとんどない	14	4.2 %
無回答	2	0.6 %
計	334	100.0 %

回答対象者 334人

(夕食時の家族との共食)



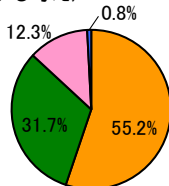
<<参考:経年比較>>



Q5 あなたのふだんの野菜(生、調理したもの、ジュースなど形態は問わない)の摂取に対する考えについて、もっとも近いものを1つ選んでください。

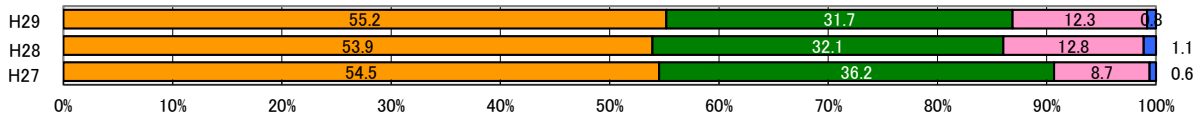
回答	回答者数	構成比
1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている	202	55.2 %
2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある	116	31.7 %
3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない	45	12.3 %
4. 野菜を食べようとは、あまり思わない	3	0.8 %
計	366	100.0 %

(野菜摂取に対する考え)



- 1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている
- 2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある
- 3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない
- 4. 野菜を食べようとは、あまり思わない

<<参考:経年比較>>

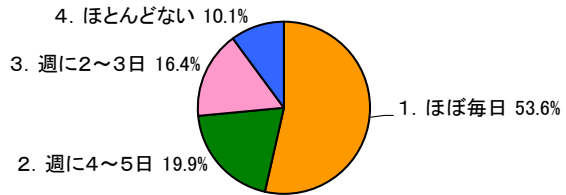


Q6 主食(ごはん、パン、めんなど)・主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使った料理)・副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理)を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

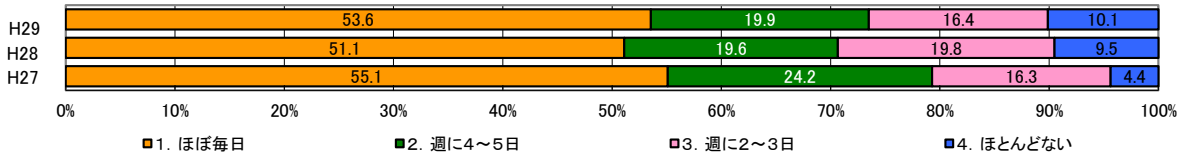
「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。「副菜」とは、野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

回答	回答者数	構成比
1. ほぼ毎日	196	53.6 %
2. 週に4~5日	73	19.9 %
3. 週に2~3日	60	16.4 %
4. ほとんどない	37	10.1 %
計	366	100.0 %

(主食・主菜・副菜のそろった食事をする頻度)



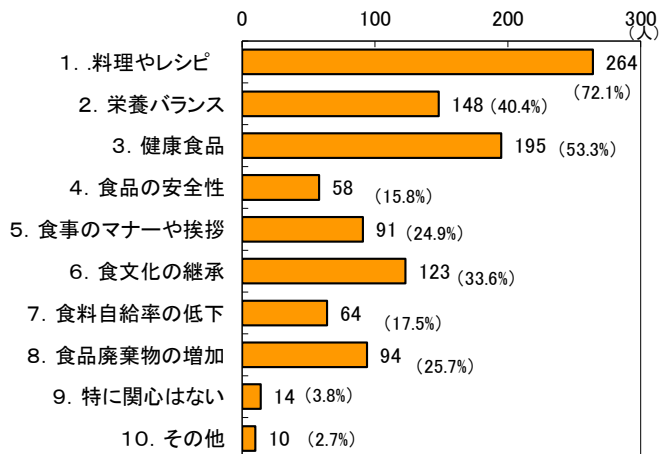
《参考:経年比較》



Q7 食に関して、どのようなことに興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 料理やレシピ	264	72.1 %
2. 栄養バランス	148	40.4 %
3. 健康食品	195	53.3 %
4. 食品の安全性	58	15.8 %
5. 食事のマナーや挨拶	91	24.9 %
6. 食文化の継承	123	33.6 %
7. 食料自給率の低下	64	17.5 %
8. 食品廃棄物の増加	94	25.7 %
9. 特に興味はない	14	3.8 %
10. その他	10	2.7 %

(食に関して興味があること)



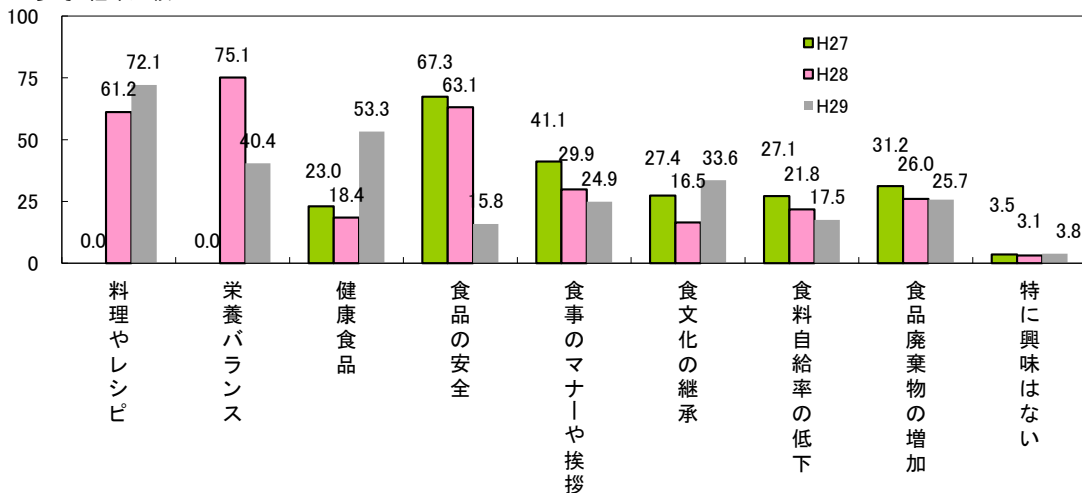
回答対象者 366人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈Q7 10. その他意見(一部要約)〉

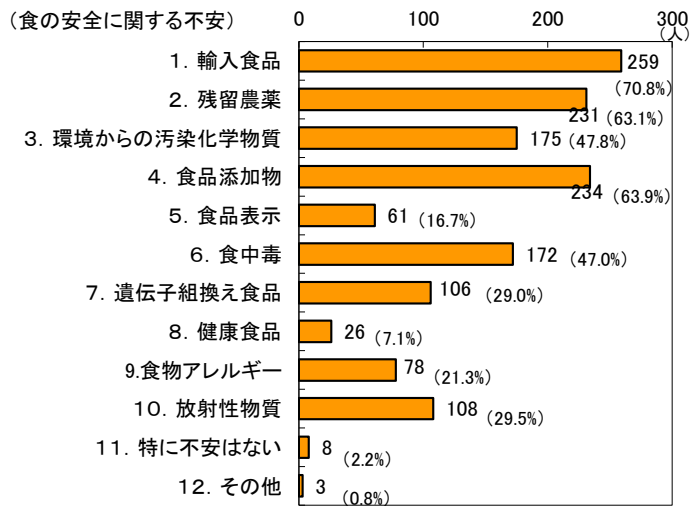
- ・地産地消
- ・無農薬野菜
- ・子どもと一緒に調理すること
- ・妊娠期間中の塩分・糖分の摂取
- ・節約
- ・帰宅が遅いライフスタイルに合った食事方法
- ・家族全員が協力してメニュー決定、食材調達、調理、食事、後片付けまで行うこと

《参考:経年比較》



Q8 食の安全について、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 輸入食品	259	70.8 %
2. 残留農薬	231	63.1 %
3. 環境からの汚染化学物質	175	47.8 %
4. 食品添加物	234	63.9 %
5. 食品表示	61	16.7 %
6. 食中毒	172	47.0 %
7. 遺伝子組換え食品	106	29.0 %
8. 健康食品	26	7.1 %
9. 食物アレルギー	78	21.3 %
10. 放射性物質	108	29.5 %
11. 特に不安はない	8	2.2 %
12. その他	3	0.8 %



回答対象者 366人

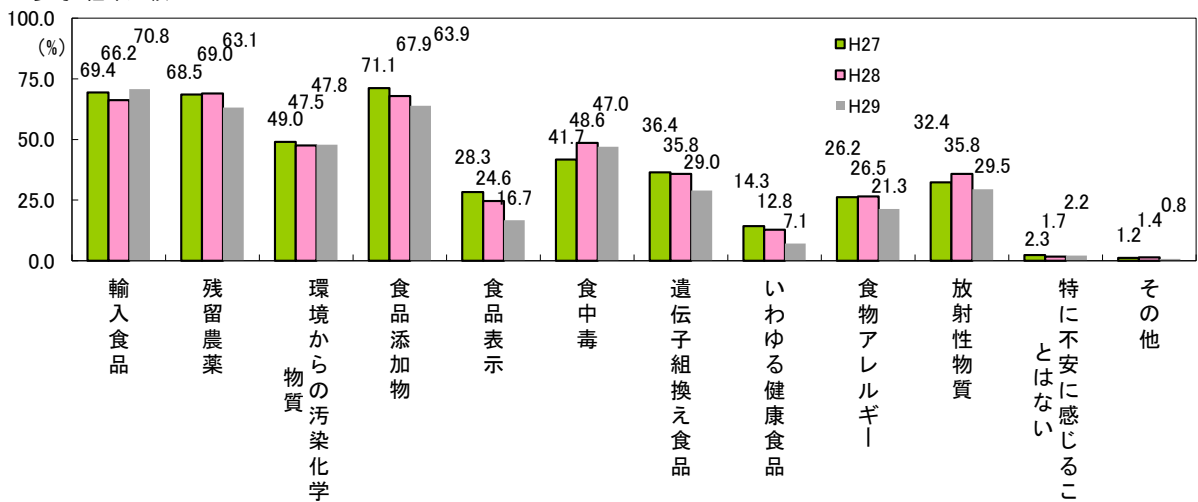
※回答対象者に対する回答数の割合

〈Q8 12. その他意見(一部要約)〉

・塩分(の過剰摂取)

・福島原発事故以降に引き上げられた放射線の基準値

〈参考:経年比較〉



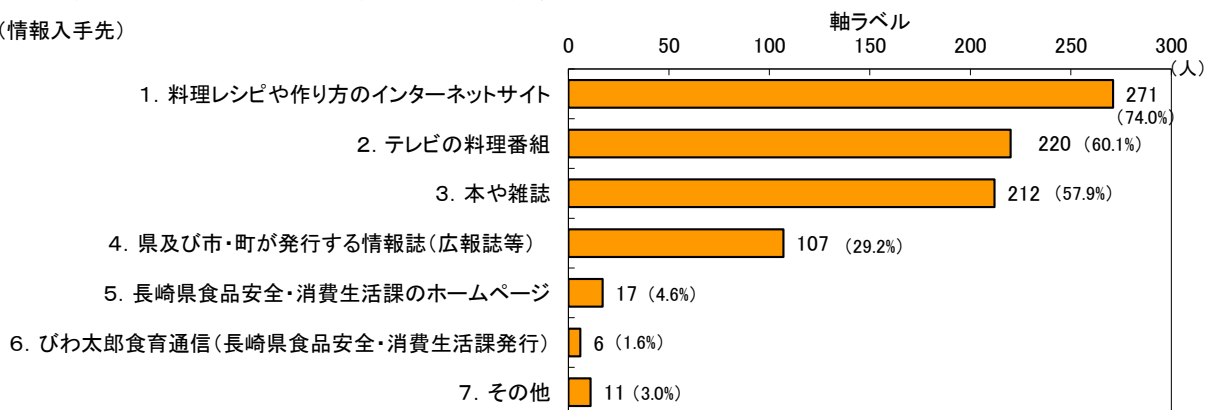
Q9 食に関する情報の入手方法について得たことがあるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 料理レシピや作り方のインターネットサイト	271	74.0 %
2. テレビの料理番組	220	60.1 %
3. 本や雑誌	212	57.9 %
4. 県及び市・町が発行する情報誌(広報誌等)	107	29.2 %
5. 長崎県食品安全・消費生活課のホームページ	17	4.6 %
6. びわ太郎食育通信(長崎県食品安全・消費生活課発行)	6	1.6 %
7. その他	11	3.0 %

回答対象者 366人

※回答対象者に対する回答数の割合

(情報入手先)



〈Q9 7. その他意見(一部要約)〉

・新聞の料理コーナー。

・知人・友人からの情報。

・公民館講座、料理教室。

・食生活改善推進員からの情報。

・県のフォーラム。